

2017-18年秋冬 ユニチカ・機能性素材の販売展開について

ユニチカトレーディング株式会社は、「2017-18年秋冬 ユニチカ・機能素材展」を開催し、スポーツアパレルや商社などを中心に、プレゼンテーション及びプロモーションを本格的にスタートします。

ここ数年、健康意識の高まりや政府のスポーツ・ツーリズムなどの推進により、国内におけるスポーツ人口は増加傾向にあり、今後さらに外国人旅行者がトレッキングやスキーなど自然の中でスポーツに触れる機会を増やすことで、様々な相乗効果とスポーツ産業の拡大が期待されています。これは国内の高機能素材を海外へアピールするチャンスにもなります。その中でスポーツ用機能素材は、アスリートが求めるハイスペックな高機能性を追求する一方、ジョギングなど健康を意識したトレーニングやスポーツ・ツーリズムのニーズに合わせた、カジュアル感覚で着心地の良い快適機能性素材が増加することが予想されます。

今シーズンは、カジュアル感覚のある着心地の良さを追求し、ソフトでやさしい風合いの新触感素材「フィーリングソフ（仮称）」と、汗冷え防止素材「ヒエンデ（仮称）」を開発しました。また、環境配慮型の“フッ素フリー撥水加工素材”を開発し提案します。

今回の素材展は、《Deeply Rooted》をテーマに、素材の根源を見つめ直し、本当に必要なモノにこだわり、機能素材の持つ役割をより深く掘り下げ、消費者目線で開発した素材を提案します。

記

1. 2017-18年秋冬 ユニチカ・機能素材展 概要

□日時・場所

【東京】 2016年6月1日(水)・2日(木)
午前10時～午後5時
サンライズビル東京 3F (コンベンションホールA)
(東京都中央区富沢町11-12)

【大阪】 2016年6月14日(火)・15日(水)
午前10時～午後5時
サンライズビル大阪 2FホールC
(大阪府中央区備後町2-6-8)

2. 新素材

①「フィーリング ソフ／FEELING SOF. (仮称)」(新触感素材)

当社独自の特殊複合糸を用い、やわらかな風合いと生地表面に独特のピーチ感がある着心地の良さが特長です。マイクロファイバー由来の吸水性・速乾性を有する、風合いの良さと機能性を併せ持った素材です。

②「ヒエンデ／HIEN-DE (仮称)」(汗冷え防止性素材)

運動後の汗冷えを防止する素材です。吸水拡散性に優れた機能性原織を使用し、肌面に汗の残りを少なくさせます。また、生地が素早く乾燥するため運動後の汗による冷え感を低減させます。

3. プロモート素材

①「タクティーム／TACTEEM®」(持続撥水素材)

当社独自の特殊加工糸を用い、生地表面に微細凹凸構造を形成することで、水滴との接触面積を減少させ、高い水滴ころがり性を実現した耐久撥水素材です。また、繰り返し洗濯をしても水滴ころがり性能が低下しにくく、スポーツやアウトドアシーンなどで優れた効果を発揮します。今回は新たに空素材と透湿防水素材を提案します。

②「エアーホールド／AIRHOLD®」(断熱保温素材)

熱伝導率が低く断熱効果に優れる空気を積極的に利用した断熱保温素材です。特殊な生地組織や起毛により、生地におけるデッドエア層の割合を高めることで優れた断熱効果を発揮します。そのため、身体からの放熱を低減し、低温環境下における体温の低下を抑えます。

③「ハイグラ／HYGRA®」(吸放湿素材)

特殊吸水ポリマーをナイロンで被膜した芯鞘複合構造によって生み出される吸放湿性繊維です。芯部の特殊吸水ポリマーが湿気を吸放湿し、衣服内湿度を快適な状態にコントロールするので、繊維の表面はサラっとした心地良い質感を保ちます。衣服内の温かさを維持したまま、蒸れによる不快感を軽減します。

④「タフレックス／TUFLEX®」(ノンコーティング高密度織物)

極細ポリエステル繊維を使用した、ノンコーティングでありながら防水性と撥水性に優れ、さらにソフトな風合いを持った高密度織物です。

4. 出展素材点数

アクティブスポーツ素材	織物	約150点
	ニット	約150点
(計)		約300点

5. 2017-18年 秋冬 販売計画

2017-18年 秋冬：105% (2016-17年秋冬シーズン対比)

□ 主な販売先 (順不同)

デサント、ヨネックス、アシックス、ミズノ、ゴールドウイン、プーマ、
ラコステジャパン、BW(ブラック&ホワイト)、ドーム、フェニックス、
テーラーメイドゴルフ、SSK、オークリージャパン 他

以上